

あ と が き

昨年1年は何のアナウンスもなしに開店休業の形になってしまい、多くの方々にご迷惑をおかけしました。何人かの方からは、問合せをいただき責任を痛感しました。この間、全くの冬眠状態ではなかったわけでした、本文の中でも述べましたように、シグマ研究委員会では、本誌の編集・発行の建て直しについていろいろな角度から検討を重ねてきました。そのために、一層手不足となって発行が止まってしまった次第です。昨年暮に、編集委員会が発足し、私としても気を楽しんでいるところです。それにつけても、何故もっと早くこの問題を提起して解決のための手を打っていたならば、1人で悩むこともなかったのにと悔まれてなりません。

次号からは新たに発足した編集委員会の手で発行することになりますが、編集委員はベテラン揃いですので大いにご期待下さい。なお、本号から資料リストを計算機で出力したものをそのまま印刷するようにし、タイフする手間をはぶくと同時に、文字を大きくして見易くしたつもりです。次号からは、さらに多くの点で新しい工夫が盛り込まれる筈です。（編集係 浅見哲夫 記）